

二本松税務署長賞

「税金に支えられて」

二本松市立二本松第三中学校

三年氏家 静来

「なぜ物を買うと消費税がつくの？」と税金について知らなかった私はそう思っていました。

しかし、だんだん税金について学ぶ機会が増え、「税金は大切な物なんだ」と知りました。少し自分のまわりを見渡しただけで、税金がたくさん使われていることに気づきました。毎日当たり前のように過ごしている生活の中には、国民が納めている税があるからこそ、成り立つ生活があるのです。その一つとして挙げられることは、私達が普段通っている学校です。そして、学校で使っている教科書、机やイス、実験に使う顕微鏡などの道具、みな税金によってある物です。今挙げた物の他にもたくさんあります。

他にも、部活の大会等で使う体育館、子供達が遊ぶ公園などの施設にも税金は使われて

います。

もし、税金がなくなってしまうたら、私達の生活はどのようなになってしまうのでしょうか。火災が起きても消防車はこないの自分

達でどうにかして消火するしかありません。地震や台風などで、道路が壊れたり、木が倒れて道路がふさがれてしまっても、自分達で道路を直して、倒れた木は協力でもしてどかすしかありません。雪が降る地域では、自分達で道路を雪かきするしかありません。みなさんどうですか。自分達の力だけでこんなこと出来ますか。こう考えると税金がどれだけ私達の生活の中で役立っているか、すごく分かります。もし、本当に税金がなかったとしたら、この世の中大変なことになっていただろうと思います。

今なら、先生がある日言った、「教科書は大切に」の意味がよく分かります。今持っている教科書の中には、一生懸命働いた親のお金も入っています。自分が払った税も入っていると云えます。だから、納めた税を無駄にし

ないためにも、税で戻ってきた物を大切にしようと思いました。

国民が納めた税金は住みやすい地域社会を作り、公共サービスとして私達のところへ戻ってきますが、そのサービスや施設を国民みんなが平等に利用出来るようにするためにも、負担する能力に応じて公平にすることが大切ではないのかと思いました。

私は、国民によって納められている税金が住みやすい地域社会を作るために使われていることを願います。

そして、国民のみなさんは税金を納めることの大切さをもっとよく理解してほしいと思います。私自身も、もっと税金について関心を持つと思っています。

今の地域社会が、五年後、十年後、二十年後とどんどんよくなればいいと思います。

みんなで、支え合い、協力し合い、よりよい日本になれたらと、私は思います。

